

交通局の取組について(報告)

① 11月までの市電の利用者数推移について(別紙1)

第5波の収束により、10月以降は回復基調となっているが、厳しい状況は変わらず。

② モバイル定期券の導入について(別紙2)

利便性向上のため、10月1日より導入開始。10月の定期券購入者の約10%がモバイル定期券を購入。窓口業務の軽減やコロナ対策にもつながる。

③ 折り返し運行の試験導入について(別紙3)

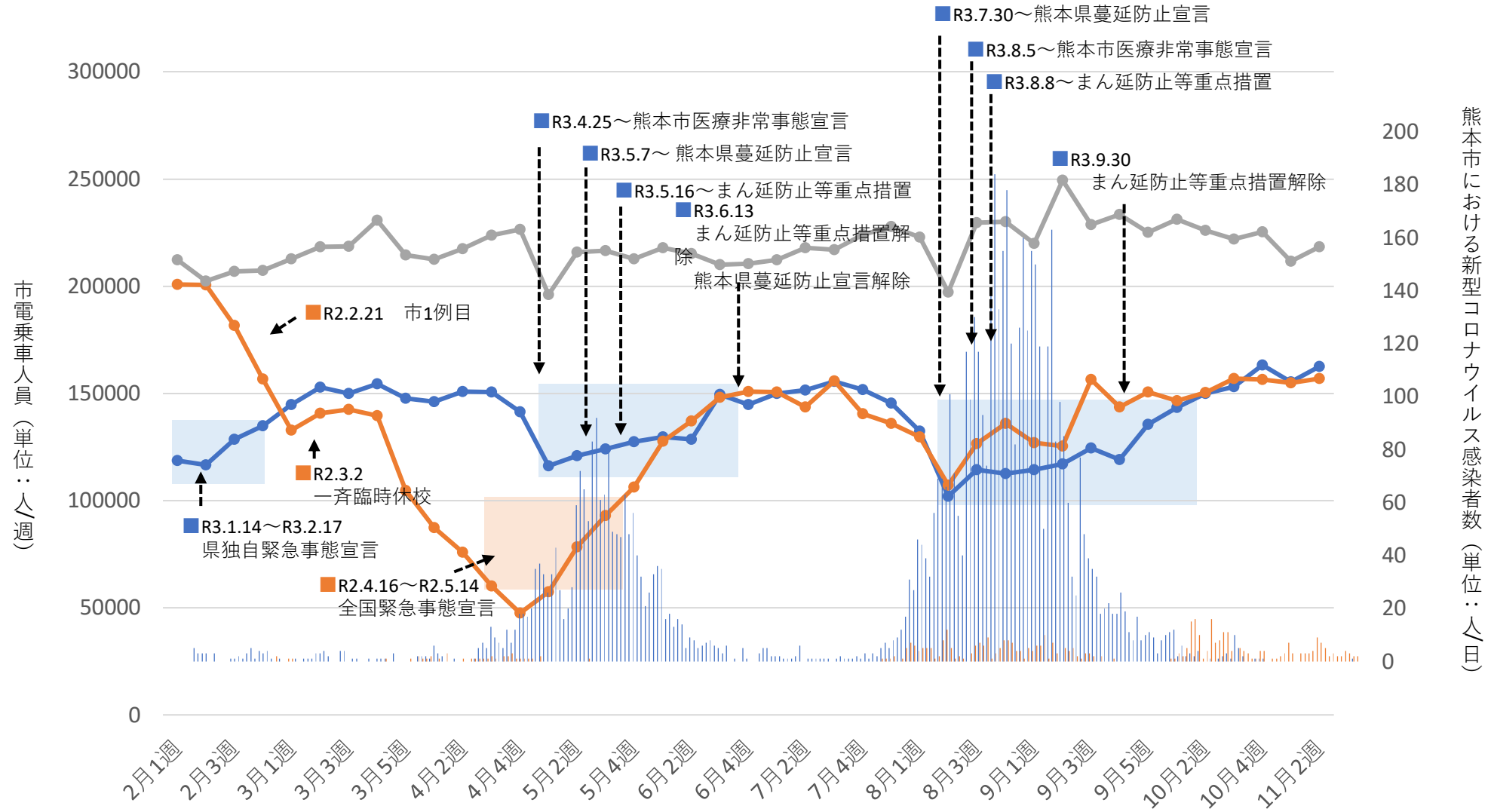
コロナ禍においても、朝ラッシュ時の混雑は変わらない状況。特に新水前寺駅前電停からの混雑がひどいため、11月1日より1か月間、混雑緩和を目的とし、「神水」⇔「辛島町」を折り返す便を新設し試行運行中。輸送力の向上を図る。効果検証後、本格導入を検討。

④ 市電アンケートの実施について(別紙4)

11月1日より実施。例年実施しているが、本年度は新規車両導入に向け、車両に関する項目も追加して実施した。すでに4,000人近い方からご回答いただいている。今後の事業に生かしていきたい。

凡例：

— H31年 (R元年)	(R2年)	] 宣言・措置等の期間
— R2年	(R3年)	
— R3年		



熊本市交通局に モバイル定期券が登場!!

2021年10月1日より販売・利用開始!!



ご利用には専用アプリ

QUICK RIDE
のインストールが必要です。



いつでも、
どこでも、
乗車券を
購入できる!

発行手数料・年会費 無料

クレジット決済または、
クレジットカードブランドの
プリペイドカードが使えます。

降りるときに見せるだけ

- 定期券は期間内であればいつでも表示できます。
- 他の乗車券等との併用はできません。
- 降車時に乗務員へチケット画面をご提示ください。
- 画面デザインは予告なく変更することがあります。

＼いますぐダウンロード!／



詳しくは熊本市交通局のホームページをチェック!!

熊本市交通局 モバイル定期券



折返し運行について(試験運行)

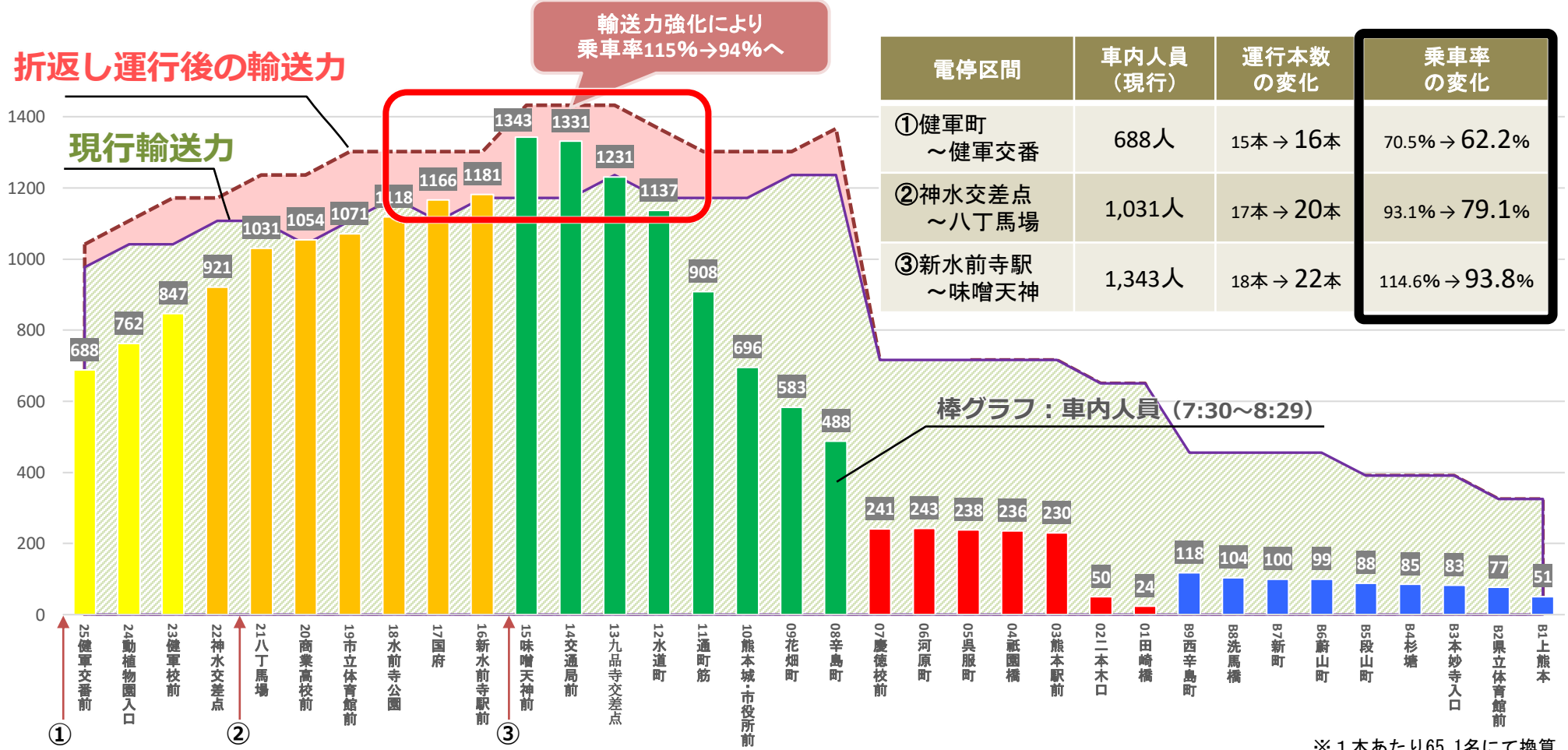
○平日朝7時30分以降、新水前寺駅前電停付近では乗車率が100%を超え、満車により乗車できない状態が発生している。

○そこで、折返しポイントを活用して神水交差点～辛島町間、新水前寺駅前～辛島町間の折返し運行を新設することで混雑率低減を図る。※11月1日(月)～12月3日(金)の期間で試験運行を実施予定。

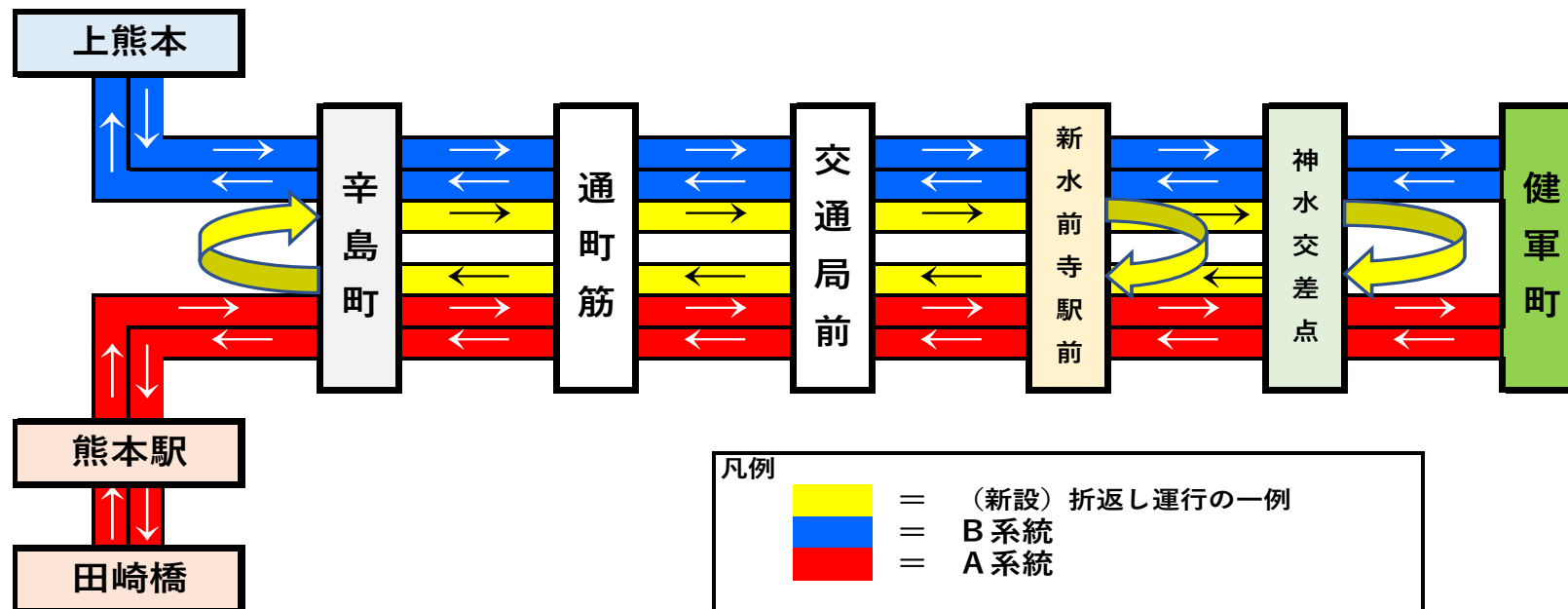
輸送力の比較：【上り】健軍町→田崎橋/上熊本 各電停運行本数（7:30～8:29）

折返し運行後の輸送力

輸送力・車内人員



【折返し運行のイメージ】



【折り返し車両に乗り込む乗客の様子】



【新水前寺駅前電停渡り線での折返しの様子】



市電に関するアンケート調査途中経過報告

別紙4

サービス向上及び新規車両の導入のために主にweb上でアンケートを実施し、ニーズや満足度を調査。経営計画に掲げる目標は**満足度70%**。
11/1～11/30まで実施予定だが、11/17時点で**3916名**という大勢の方に回答をいただいている(参考:昨年度回答者1856人)

○市電のサービス満足度(11/17時点)

項目	「満足」+「やや満足」		「やや不満」+「不満」	
	R3年	R2年	R3年	R2年
市電路線	60.0%	61.1%	13.9%	19.1%
運行ダイヤ	68.2%	70.4%	8.6%	14.2%
運賃	76.2%	77.9%	6.6%	8.3%
市電車両	58.8%	53.8%	15.7%	23.9%
電停施設	42.6%	39.8%	28.1%	36.6%
乗務員の接客	68.0%	66.4%	3.8%	8.0%
情報提供サービス	58.9%	46.1%	7.9%	12.9%
合計	61.8%	59.4%	12.1%	17.6%

○車両に重要視していること(11/17時点)

項目	重視	どちらでもよい	重視せず
定員数	61.2%	18.2%	20.6%
座りやすさ	69.5%	15.4%	15.2%
ユニバーサルデザイン	63.6%	20.1%	16.3%
車両デザイン	39.1%	25.9%	35.0%
乗り心地(走行音や空調)	77.3%	13.2%	9.6%
設備(Wi-Fiや決済手段)	59.7%	20.2%	20.0%
省エネ(環境負荷)	64.4%	21.4%	14.2%

※「重要」には「やや重視する」を「重視せず」には「あまり重視しない」を含む

○改善要望項目(11/17時点)

要望項目	件数	割合
路線の延長もしくは新設	1544	39.5%
運行本数の増加	242	6.2%
定時性の高い運行	86	2.2%
運行時間の短縮(速達性向上)	196	5.0%
新型車両の導入	240	6.1%
電停改良(バリアフリー化)	448	11.5%
バスとの乗り継ぎ利便性向上	250	6.4%
JRとの乗り継ぎ利便性向上	177	4.5%
乗務員の接客サービス向上	40	1.0%
情報提供サービス向上	72	1.8%
商店街や観光施設との協同企画	172	4.4%
スマホ決済可能な新たなサービス	281	7.2%
その他	159	4.1%

市電の満足度については昨年度よりわずかに改善している。ただし、電停や車両に対する満足度は昨年度と同様に低い。

車両に対するニーズとしては、デザインより乗り心地や座りやすさを重視する傾向。導入の際の参考にしたい。

改善要望について、最も多い路線の延長については、電停沿線外の方からの要望が主であると推測される。今後も様々なニーズに沿ったサービス改善に取り組む必要がある。